

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年9月2日

事業所名 こばん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		広いスペースがあることから個別の対応も可能です。	R5.8月より新しい建物にて運営中です。
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		マンツーマン対応にて手厚い支援を提供できるようにしております。	適切な人数で支援にあたっております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			特性に応じ構造化しております。また完全バリアフリーになっており、車いすのお子様でも対応可能です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		静養室を設け落ち着ける空間の提供もしております。	R5.8月より新しい建物にて運営中です。清潔な空間を保てるよう努めてまいります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		全員の意見が聴けるよう支援会議にて場を設けております。	常勤、非常勤ともに支援会議にて実施しております。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		面談時にも意見を伺い、業務改善に努めています。	面談以外にも送迎時等にいたくご意見や会話等のなかでも改善できることを見出し、取り組んでまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			今回初めての保護者向け評価表を行いました。今回のご意見を踏まえ改善等していきます。法人HPに公表します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者による外部評価は義務ではないため行っておりませんが、自己評価表等を基に業務改善を行っておりまます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		毎月支援会議での研修、勉強会の実施、外部研修の参加をしております。	1か月に1回の支援会議にて実施、外部研修のほか、虐待防止研修の受講も行っております。継続して今後も実施していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			契約時、面談時、ご相談時等にてご本人の様子やご希望を伺い、分析し、特性を考慮し作成しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			発達検査の結果等を基に状況把握しております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			発達支援と家族支援、地域支援の項目から選択し、具体的な支援内容を設定しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
児童発達支援計画に沿った支援が行われている	⑯ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			個別支援計画に沿った支援を提供しております。
	⑰ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないようにチームで工夫しております。	チームで立案しております。
	⑱ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			特性に応じたプログラムや子どもたちが楽しめるプログラムを考え、工夫しています。
	⑲ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			一人ひとりの発達段階や特性に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら個別支援計画を作成しています。
	⑳ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援前に確認しております。
	㉑ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必要な記録を取り、改善に努めている。	支援終了後や翌日の支援前に確認しております。
	㉒ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		評価に偏りがないよう、様々な視点から行っております。	検討を重ね、よりよい支援に繋げてまいります。
	㉓ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	㉔ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて連携しております。
	㉕ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当なし
関係機関や保護者との連携	㉖ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当なし
	㉗ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			訪問支援を行い、情報共有を行っています。
	㉘ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行に向けて今後必要に応じて行う予定です。
	㉙ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		随時カンファレンスは行っております。	
	㉚ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在は行っておりませんが、ご希望があれば検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			子ども部会の部会員として参加しております。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時やサービス提供記録等にてお伝えしております。課題等、共通理解できるよう今後も努めてまいります。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			ご相談があった際に行っております。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っております。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			面談時に行っております。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時や随時ご相談があった場合には行っております。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在は行っておりませんが、ご希望があれば検討していきます。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に対応できるよう、今後も努めて参ります。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月1回のお便りや法人からの通信で発信しております。支援システム「HUG」からの発信も定期的に活用できるよう努めてまいります。
	㉞	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
非常時等の対応	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			様々なツールを用いて配慮しております。今後も支援の質の向上のため、研修や勉強会等を実施していきます。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事等は特に行っておりませんが、ご希望がありましたら検討していきます。
	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防災・感染症等 安全対応のためのマニュアルを作成し、保護者に配布、周知しました。	防災・感染症等 安全対応のためのマニュアルを配布させていただき周知しました。内容をご確認していただけるよう、アナウンスを行っていきます。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災・感染症等 安全対応のためのマニュアルを作成し、保護者に配布、周知しました。	避難計画を策定しており、できるだけ現実に沿った災害を想定し、対応できる訓練になるよう努めて参ります。
	㉞	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時や面談時等、随時情報をいただけるようにしております。	

事業所における アンケート集計結果 公表用  
(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④⁴⁴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		契約時や面談時等、 随時情報をいただけ るようにしております。	保護者からの情報にて対応させていただいて おります。
	④⁵⁵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	<input type="radio"/>			支援会議にて共有し改善に努めております。
	④⁶⁶	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		支援会議にて適切な 支援が行われている か都度確認を行って おります。	年1回の悉皆研修となっております。
	④⁷⁷	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかに ついて、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>			法人内に身体拘束適正化委員会が設置されて おります。また面談時に身体拘束についての説 明および、個別支援計画に記載しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。